


# 2019 年度事業報告および決算

2020 年 6 月 12 日

 北陸経済連合会

## 2019 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（総合対策委員会）

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評価・方向性
<p>(1) 地方定着・地方回帰による定住人口増加に向けた取組み</p> <p>① 魅力ある仕事、職場の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の技術開発や競争力の強化、人材育成に資する国・県等の支援制度の紹介（HP、トピックス、懇談会等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当会HPによる国等の施策の紹介               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地方創生人材支援制度に関するご案内」（内閣府・内閣官房）</li> <li>・「中堅・中小企業のための知財活性化セミナー in 北陸」（11/25）（中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局）</li> <li>・「工場向けワイヤレスIoT講習会 in 金沢」（12/13）（総務省北陸総合通信局 他）</li> </ul> </li> <li>など41件発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当会HPを主として、会報・トピックスも活用した紹介を継続</li> </ul>
<p>② 北陸地域内大学との連携による人材育成および域内就業促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「北陸のシェアトップ 100」等による北陸地域の優れた企業のPR</li> <li>・ 北陸地域内企業のインターンシップ制度の導入促進</li> <li>・ 北陸地域内企業の優れた人材の大学への講師派遣の促進</li> <li>・ 国際人の育成（海外インターンシップの促進支援 等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「北陸のシェアトップ 150」の各大学への配布、周知、大学説明会等での活用</li> <li>・ 会員大学就職課との更なる連携（企業情報提供、北陸生活環境の優れた点アピール）</li> <li>・ 北陸での就職率向上を目指した三県推進組織との連携（会員企業との個別マッチング、域内企業情報提供、北陸生活環境の優れた点アピール、会員企業への三県推進組織の紹介）</li> <li>・ インターンシップに関する情報等（実施例、補助金等制度等）の会員への提供</li> <li>・ COC+事業の動向把握および支援</li> <li>・ 他経連取組み状況調査（中経連ほか）</li> <li>・ 北陸の域内大学（会員大学）での実態やニーズ（希望人材、講義内容等）調査</li> <li>・ 会員企業と大学とのマッチング支援（ASEAN を中心とした海外インターンシップ）</li> <li>・ 北陸AJEC、JICA等との連携、支援（補助制度の説明や案内等）</li> <li>・ 域内大学留学生の域内定着（就業）支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「北陸のシェアトップ 150」の配付               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地区大学理工系就職研究会メンバーに配付（5月）</li> <li>・ 第6回北陸産学連携懇談会（学長懇）に参加の各大学長に配付（8/27）</li> <li>・ 北陸技術交流テクノフェア（10/24～25）、富山県ものづくり総合見本市（10/31～11/2）、Matching HUB 金沢（11/11～12）で配付</li> </ul> </li> <li>○ 第6回北陸産学連携懇談会（学長懇）の実施（8/27）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 懇談テーマ「学生、留学生の北陸域内就業促進」</li> </ul> </li> <li>○ 【延期】北陸産学連携交流会（部門長会議）（3/5）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 懇談テーマ案「学生（留学生含む）の北陸域内就業促進方策」</li> </ul> </li> <li>○ 石川県立大学見学会実施（先端技術推進委との合同開催）（8/27）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員企業による石川県立大学の研究内容視察</li> </ul> </li> <li>○ 関東地区大学理工系就職研究会との「企業と大学の情報交換会」で北陸三県UIJターンの取組みを出席会員企業に紹介（10/16）</li> <li>○ 北陸産学連携懇談会（学長懇）の事前アンケートで、COC+事業の状況調査を実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 会員 12 大学の域内就職率は 47.3%（2017 年 3 月）⇒43.6%（2019 年 3 月）と低下したものの、COC+事業により低下抑制等の一定の効果ありと評価</li> </ul> </li> <li>○ 中部経済連合会における「企業・人材プール」事業（会員企業から会員大学へ講師派遣）の取組状況について確認（2019 年度）10 大学で 15 社・団体が 18 コマの講義を実施</li> <li>○ 北陸産学連携交流会（部門長会議、2 月頃）の事前アンケートとして、主要会員企業の大学への講師派遣の実績と大学側のニーズに関する調査を実施予定               <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 講師派遣は研究室等の個別対応であり、大学として把握していないことから、アンケート調査を中止</li> </ul> </li> <li>○ 留学生との意見交換会・交流会の実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山大学（7/10）、北陸先端大学（7/22）、福井大学（10/28）</li> </ul> </li> <li>○ 高度外国人材活用セミナーの実施（ジェトロとの共催）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山会場（6/3）、石川会場（10/21）、福井会場（12/20）</li> </ul> </li> <li>○ インド（7/19）、インドネシア（9/2）、ベトナム（10/24）との経済交流会議に地元大学の留学生を招待し、北陸企業との交流の場を提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベトナム人留学生 16 名、インドネシア人留学生 19 名、インド人留学生 26 名</li> </ul> </li> <li>○ 金沢大学が取り組む『「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進コンソーシアム』に推進協議会委員として協力               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンソーシアム推進協議会の総会・シンポジウムに参加（11/21）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学の「知」と連携した産業振興や国際経済交流等の推進と、経済界としての北陸の「知」の拠点である大学の発展に向けた協力を継続</li> <li>・ 「北陸のシェアトップ 150」を機会あるごとに配付・説明し、北陸のニッチトップ企業の積極的なPRを実施</li> <li>・ 学生の地元企業に対する認識を深めるため、各県インターンシップ推進組織や大学との連携を強化</li> <li>・ 留学生に対して地元企業との出会いの場を提供し、両者の交流・情報交換の場を提供するなど、留学生の定着促進に向けた取組みを継続</li> </ul>

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評価・方向性
<p>③域外大学進学者等の UIJ ターンの促進</p> <p>・域外大学進学者に対する「北陸シェアトップ100」等による北陸地域内の優れた企業の PR</p>	<p>・自治体等との連携（域外での就職フェア等へ協力）</p> <p>・域外の理工系大学（首都圏大学の就職担当部門）と会員企業との情報交換会開催</p>	<p>○【延期】北陸産学連携交流会（部門長会議、3/5）で三県 UIJ ターン担当者から各県の施策について紹介予定</p> <p>○関東地区大学理工系就職研究会（関就研）との「企業と大学の情報交換会」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関就研 10 大学（※1）の就職指導担当者、会員企業 30 社の採用担当者、北陸 3 県の UIJ ターン推進担当者による就職情報交換会の実施（10/16：金沢）</li> <li>・北陸企業 5 社（※2）の見学会実施 [採用方針聞き取り、最先端生産設備等視察]（10/16～17）</li> </ul> <p>（※1）神奈川工科大学・工学院大学・埼玉工業大学・玉川大学・千葉工業大学・東京工芸大学・東京電機大学・東京理科大学・日本工業大学・明星大学</p> <p>（※2）小松マテーレ、ジェイ・バス、セーレン、シャルマン、日華化学</p>	<p>・関就研との情報交換会について、接点の少ない関東地方の理工系大学に自社情報を発信できる貴重な機会として、参加会員企業から高い評価をいただいた</p> <p>・今後、他地域も含めた大学との情報交換会の実施について検討</p>
<p>(2) 女性が働き続けられる社会の実現に向けた取組み</p> <p>①女性部会の提言（子育て、介護等、離職防止のための施策に関するもの等）</p>	<p>・「ひとり親との交流会」の開催（東京等） （ひとり親が困っていることや求めていることなどに関する聞き取り、北陸の働きやすさ・住みやすさの PR 等）</p> <p>・部会メンバーの意識向上、スキルアップに資する勉強会（講演会）の実施</p> <p>・性別にかかわらず一人ひとりが働き続けられる社会実現に向けた政府要望項目検討、政府要望活動への参加</p>	<p>○とやま移住・転職フェアへの参加（7/6 東京）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会からは北陸コ・コラボトリング、インテック、キタムラ機械、PCO の 4 社が参加</li> </ul> <p>○第 4 回女性部会（10/18）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひとり親との交流会」開催に向けた意見交換</li> </ul> <p>○ひとり親の北陸移住に関する北陸三県等へのヒアリング（11 月）</p> <p>○【取止め】「ひとり親との交流会」（2/29 東京）[申込 3 名]</p> <p>○第 1 回女性部会〔勉強会〕（4/23）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〔講師〕（公社）チャンス・フォー・チルドレン今井代表</li> <li>〔演題〕「子どもの貧困・教育格差の現状とスタディクーポンの仕組み」</li> </ul> <p>○第 3 回女性部会〔施設見学会〕（6/20）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山市まちなか総合ケアセンター（病児保育、産後ケア）、角川介護予防センター訪問</li> </ul> <p>○経団連の協力のもと、東京の第一線で活躍されている女性管理職との交流会について検討</p> <p>○第 2 回女性部会（5/31）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「女性部会としての提言書」を中心に要望事項について検討</li> </ul> <p>○政府要望活動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅野女性部会長、森田副部会長による政府要望の実施（8/1）</li> </ul> <p>○第 5 回女性部会（2/17）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の女性部会の方向性について検討</li> </ul>	<p>・ひとり親の北陸への移住推進のほか、「女性が働きやすい北陸」とのブランドづくりに向けた取組みについて検討</p> <p>・「ひとり親との交流会」は延期したものの、開催予定日（2/29）に事務局が東京へ出向き、参加予定者 1 名と懇談（富山への移住を希望していることから、富山県の移住サポート窓口を紹介済）</p>
<p>(3) リタイア人材の活用</p>	<p>・国、自治体等が主催するセミナー、合同説明会、各種支援制度等の当会 HP、懇談会等を活用した支援、紹介</p> <p>・合同説明会への会員企業の参加呼びかけ</p>	<p>○当会 HP での高齢者雇用に関する国・県の支援策、セミナー等に関する情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会 HP 「シルバー世代の雇用」のページで、北陸三県、労働局および（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構の施策を発信</li> <li>・石川労働局、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構各県支部からの要請により、当会 HP で説明会、セミナー等の開催案内を発信</li> </ul> <p>「2019 年度 雇用に関与する助成金等説明会（石川県内）」 （7/17～26）</p> <p>「生涯現役社会の実現に向けて（福井）」（10/16）</p> <p>「高齢者を活かす雇用・働き方を考える（石川）」（10/24）</p> <p>「人生 100 年時代 高齢社員戦力化へのアプローチ（富山）」 （10/25）</p> <p>○【延期】企業 OB・OG 等の派遣を通じた企業・団体支援を実施している NPO 法人（国際社会貢献センター）の取組みに関するセミナー（4/13）</p>	<p>・今後も当会 HP を活用した情報発信およびセミナー等への参加を継続</p>

アクションプラン実施項目	2019年度事業計画	実施状況	評価・方向性
(4) 二地域居住の推進支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸イメージアップ推進協議会HPとの連携による北陸の魅力PR、北陸域内の事例等の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当会HPおよび北陸イメージアップ推進会議HPでの北陸の魅力、移住情報等の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会HPの「二地域居住・移住」のページで北陸三県の暮らしやすさについて発信</li> </ul> </li> <li>○Forbes JAPAN 特別編集ムック本（婚活支援団体PR本）への北陸の住みやすさ等の魅力PR記事掲載（11月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も北陸イメージアップ推進会議HPとの連携による情報発信を継続</li> </ul>
(5) 魅力あるまちづくりに関する取組み ①北陸地域内の地域経済の専門家とのネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸地域政策研究フォーラムとの連携</li> <li>・会員大学研究者の活用（会員懇談会等での講演）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北陸地域政策研究フォーラムの開催支援（12/14 石川県文教会館）</li> <li>○北陸技術交流テクノフェア（10/24～25）への金沢工業大学・金沢美術工芸大学との共同出展</li> <li>○当会主催講演会等での会員大学研究者による講演実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員懇談会[富山]（10/29 富山大学 副学長・都市デザイン学部教授 中川 大氏）</li> <li>・先端技術講演会（11/29 金沢工業大学 医工融合技術研究所長 新谷 一博氏）</li> </ul> </li> <li>○北陸経済に関する情報交換会への参加  [構成メンバー] 日銀金沢支店、政投銀北陸支店、北陸財務局、北陸経済研究所、北陸電力、北経連 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回情報交換会（6/5）</li> <li>・第2回情報交換会（11/26）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地域経済研究者との連携を深め、ネットワークを構築</li> </ul>
②PPP、PFI等民間活力の活用 (PPP:パブリック プライベート パートナーシップ) (PFI:プライベート ファイナンス イニシアティブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域プラットフォームへの参画</li> <li>・コンセッション方式（インフラ運営権の民間への売却）等、官民連携に関する勉強会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○セミナー等への参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度 第1回いしかわ地域プラットフォーム（5/29）</li> <li>・ // 第1回とやま地域プラットフォーム（6/3）</li> <li>・ // 第2回いしかわ地域プラットフォーム（8/28）</li> <li>・ // 第2回とやま地域プラットフォーム（8/29）</li> <li>・ // 第3回いしかわ地域プラットフォーム（10/3）</li> </ul> （上記については当会HPにおいて開催案内掲載）</li> <li>○インフラ整備に関するPPP/PFI活用事例勉強会の開催検討  ⇒2020年度に開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三県のプラットフォーム動向フォローを継続</li> </ul>
(6) エネルギーセキュリティ強化に向けた取組み ①原子力、再生可能エネルギーの推進 ②水素エネルギー、地熱、メタンハイドレート等の活用推進支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府要望への織込み</li> <li>・経産局等への協力等（経産省事業等への後援、支援等）</li> <li>・自治体、エネルギー事業者等との情報交換等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○政府要望への織込み <ul style="list-style-type: none"> <li>・当会単独要望活動（8/1、8/2）、三経連要望活動（10/16）、西日本経済協議会要望活動（11/13）等において、電力の安定供給確保や「重要なベースロード電源」と位置付けられた原子力発電の迅速な安全確認と早期運転再開など、持続的な経済成長の実現に向けたエネルギー政策に関する要望を実施</li> <li>・要望事項の検討にあたっては、北陸三県からの意見を聴取</li> </ul> </li> <li>○懇談会等でのアピール <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸選出自民党国会議員との懇談会（11/14 東京）、中部・近畿経済産業局との懇談会（12/4）等でアピール</li> </ul> </li> <li>○経産省資源エネルギー庁主催「持続可能な社会を目指す将来のエネルギーを考えるシンポジウム in 福井」（1/16）の後援および当会HPでのPR実施</li> <li>○【中止】環境省主催シンポジウム「気候変動を踏まえた脱炭素社会の実現に向けて」（2/22）の後援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在稼働している原子力発電所は9基（いずれもPWR）にとどまり、高経年火力発電所を活用せざるをえない状況が継続している。安定かつ低廉な電力供給のため、安全性が確認された原子力発電所の速やかな再稼働に関する要望を継続</li> <li>・エネルギーセキュリティ確保、温室効果ガス削減に向けた諸施策、国民負担の抑制等に関する要望を継続</li> </ul>



アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(8) その他	<p>・「地域経済活性化に向けた連携協定」(協定先：日本経済団体連合会)の会員企業・大学へのPR、積極的な利用促進</p> <p>・50周年記念誌の発行</p> <p>・「北陸近未来ビジョン」の公表</p> <p>・第五次中期アクションプラン(2021～2025年度)策定に向けた基礎調査の実施</p>	<p>○経団連会員企業へ紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸の企業・大学の技術等を連携協定に基づき経団連会員企業へ紹介(マッチングの申し入れ)</li> <li>* 現在までに33案件を申請 ⇒このうち19件で面談に至る</li> <li>* 第2回マッチングワークショップ開催(10/30 経団連会館) ※北海道経済連合会、四国経済連合会と共同開催(北陸の企業3社、1大学、1地方自治体の取組みや技術を紹介)</li> </ul> <p>○低炭素社会の形成に伴う環境ビジネス創出の支援 [関連組織：北陸環境共生会議]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸環境共生会議幹事会(5/14)</li> <li>・いしかわ環境フェア2019(8/24、25)</li> <li>・先進地視察「長野県との意見交換、ながの環境エネルギーセンター見学」(8/28)</li> <li>・とやま環境フェア2019(10/5、6)</li> <li>・ふくい環境フェア2019(11/23)</li> <li>・ワークショップ2030 SDGs(2/14 金沢)</li> </ul> <p>○50周年記念誌作成、発送(12/3)</p> <p>○「北陸近未来ビジョン」公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期総会にあわせて開催した記者会見において「北陸近未来ビジョン」を公表(6/11)</li> <li>・公表後、北陸三県や行政機関等へ個別に説明・意見聴取 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 寺島実郎氏(7/2)</li> <li>* 富山県(7/12)、石川県(7/23)、福井県(7/23)</li> <li>* 中部経済産業局(9/27)</li> <li>* 中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局(7/17)</li> <li>* 近畿経済産業局(10/21)</li> <li>* 北陸地方整備局(9/27)</li> <li>* 北陸信越運輸局(9/27)</li> <li>* 近畿地方整備局(10/21)</li> <li>* 中部運輸局(10/17)</li> <li>* 北陸総合通信局(11/22)</li> <li>* 北陸財務局(8/26)</li> <li>* 北陸農政局(11/22)</li> </ul> </li> <li>・当会主催の懇談会で説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 三県知事との懇談会(7/29)</li> <li>* 北陸産学連携懇談会(学長懇)(8/27)</li> <li>* 北陸地方経済懇談会(経団連との懇談会)(11/20)</li> <li>* 中部・近畿経済産業局との懇談会(12/4)</li> <li>* 北陸地域懇話会(地方整備局・運輸局との懇談会)(3/4 予定)</li> </ul> </li> </ul> <p>○電子情報通信学会誌への寄稿依頼対応(2020年10月発刊予定)</p> <p>○第四次中期アクションプランの評価(レビュー)、北陸近未来ビジョンにおける方向性の現状整理、第五次中期アクションプラン策定の方向性検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第四次中期アクションプランに対する評価、北陸を取り巻く環境および北陸近未来ビジョンにおける方向性の現状・課題について把握するための基礎調査を実施(日本経済研究所に委託)</li> <li>・総合対策委員会での中間報告(12/16)、各委員会および常任理事会での最終報告(3月～4月)</li> </ul>	<p>・北陸の企業や大学にとって経団連会員企業(一部上場の大手企業)と連携できる意義は大きいと評価、引き続き会員企業、大学へのPRに注力</p> <p>・3県と連携しながら継続実施</p> <p>・当会が考える将来のありたい姿(スマート・リージョン北陸)に関する関係各所への理解醸成を図れた</p> <p>・本基礎調査をもとに、北陸近未来ビジョンで掲げた「スマート・リージョン北陸」の実現に向けた次期5か年の事業計画「第五次中期アクションプラン」を検討・策定 (「新春経済懇談会」(2021年1月開催予定)で発表予定)</p>

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
(8) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要指標（人口、総生産等）のデータベース化と Web 掲示ならびにデータの定期メンテナンスに向けた検討</li> <li>・ インダストリー4.0、自動運転の動向などに関する海外視察実施[ドイツ]</li> </ul>	<p>○ 当会HPでのデータベース化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「データで振り返る北陸の50年」(2018年6月発刊)掲載の各種指標（人口、総生産等）をはじめ、北陸経済の分析のために重要と思われる指標をデータベース化し、当会HPで公開(3/27)</li> </ul> <p>○ ドイツ連邦共和国視察(5/4~5/12)</p> <p>(参加者) 久和会長、稲垣副会長、永山常任理事、浅野常任理事、浅野理事、鈴木理事(当時)ほか、総勢20名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フ라운ホーファー研究機構 IPK (インダストリー4.0)</li> <li>・ ドイツ産業連盟</li> <li>・ フ라운ホーファー研究機構 IOSB (自動運転)</li> <li>・ BMW 社 ミュンヘン工場</li> <li>・ KUKA 社 (産業用ロボット)</li> <li>・ SAP 社 等</li> </ul> <p>(所感)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* デジタル技術をもものづくりに活用し、生産効率の向上だけでなく付加価値の向上も実現すべく、政府主導で経済団体や労働組合等も一体となって取り組んでいる。</li> <li>* 大企業での取組みは進んでいるが、中小企業では具体的な効果が見えないことから投資に逡巡している様子が伺えるなど、日本(北陸)と似通った状況。</li> </ul> <p>○ 視察参加者によるフィードバック研修会実施(7/22)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当会HPでの公開を継続(北陸経済研究所に運営委託)</li> <li>・ ドイツ視察を踏まえ、「Society5.0」、「スマート・リージョン北陸」の実現に向けた施策として、まずはデジタル技術を活用するための「人材育成」およびAI、IoT等の最新技術の活用事例に関する「情報提供」に注力</li> <li>・ 北陸近未来ビジョンで掲げた目標(高付加価値型産業への転換[一人当たりGRP7百万円])の実現に関する情報収集の一環としての海外視察(北欧等)の検討</li> </ul>

## 2019 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（先端技術推進委員会）

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評価・方向性
(1) 域内産業集積を活かしたもののづくり拠点形成支援 ① ライフサイエンス産業の振興支援  北陸ライフサイエンスクラスター事業の推進 [HIAC実施(北経連支援)]	北陸ライフサイエンスクラスター形成事業 ・北経連のネットワークの活用等による情報提供 ・講演会、セミナーの開催に対する協力 ・その他ライフサイエンス分野の振興支援	・先端技術講演会 [11/29 金沢市] 講師：金沢工業大学 医工融合技術研究所長 新谷一博氏 「壊し、つくる骨代謝 ～工学分野から見た骨再生戦略」  ・【中止】北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会の開催支援 [3/13 金沢市] (事務局：HIAC、北経連は支援) 先進事例講演 ヒューマン・メカトロニクス(株)会長 菅野隆二氏	・文部科学省の北陸ライフサイエンスクラスター事業は2017年度で終了したが、2020年度末まで継続的にフォローしていく予定であり、HIACと連携して当該事業の成果を活用した地域イノベーション推進を支援していく。
② 高機能新素材産業の振興支援	高機能新素材(炭素繊維材料、マグネシウム・チタン等軽金属材料、ナノファイバー材料)等の開発・加工技術等について情報収集・発信を実施 ・各材料の最新情報を提供する講演会・セミナー開催 ・先端技術を擁する施設等の視察	・人工クモ系の開発で知られるスパイバー株式会社を視察実施 [5/23 鶴岡市 (3) ②に記載]	・今後、CFRPと金属など異種物質間の接合が重要となると考えられ、情報収集並びに北陸企業への技術導入支援などを継続していく。 [CFRP:炭素繊維強化プラスチック]
(2) 新規事業創出、産業高度化、付加価値向上のための産学官連携支援 ① 研究会等による推進	各分野において関係各所と連携し、Society 5.0等の最新情報・動向や意見交換の場を提供 ・「次世代ロボット研究会・北経連」の開催 ・「高信頼システム情報交換会」の開催 ・北陸情報通信協議会(北陸総合通信局)との連携・協力 ・医工融合研究会への支援 等	・次世代ロボット研究会メンバーへ北陸技術交流テクノフェア(福井)の北経連ブースでの研究成果の展示を募集し、金沢工業大学と金沢美術工芸大学の展示を助成  ○北陸情報通信協議会(北陸総合通信局)との連携 ・講演会「5Gとeスポーツによる地方創生セミナー」 [6/26 富山市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連) ・講演会「働き方改革セミナーin富山」[10/2 富山市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連) ・発表会「北陸イノベーショントライアル2019『HIT2019』」[11/4 福井市] (主催：HIT2019実行委員会、後援：北陸総合通信局、北経連) ・セミナー「中小企業のためのIoT導入支援セミナーin鯖江」 [11/18 鯖江市] (主催：北陸総合通信局、共催：鯖江商工会議所、後援：北経連 他) ・発表会「北陸地域 ICT イノベーションセミナー2019」[11/28 金沢市] (主催：北陸総合通信局 他、後援：北経連 他) ・講演会「5GとVR/AR/MRによる地域創生セミナー」 [12/16 金沢市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連) ・セミナー「IoT導入支援セミナーin能美」[2/7 能美市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連 他) ・セミナー「IoT導入支援セミナーin高岡」[2/19 高岡市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連 他) ・【中止】説明会「地域IoTにおける電波利用の高度化と安全性に関する説明会」[3/4 金沢市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連 他) ・【中止】セミナー「IoT導入支援セミナーin富山」[3/11 富山市] (主催：北陸総合通信局、後援：北経連 他)  ・医工融合研究会(金沢工業大学主催、北経連等共催) 医療・介護機材等の開発研究に関する参加者間(大学・企業)の情報収集や技術交流を支援 [6/21、8/2、11/15]	・北陸の産業活性化を目的にした大学等との連携プロジェクト等を支援していく。  ・IoT、5G等の情報通信技術について北陸情報通信協議会(北陸総合通信局)等と協調して、最新情報の提供を継続していく。  ・医工連携に関わる情報共有の機会となるため、今後も支援を継続していく。



アクションプラン実施項目	2019年度事業計画	実施状況	評価・方向性
<p>②技術アドバイス・コーディネート活動 [HIAC実施(北経連支援)]</p>	<p>・各種交流の場を通して得られた大学の研究シーズや企業のニーズを産官学連携コーディネータ[HIAC]に橋渡しすることにより、産学金官連携による事業展開やマッチング等を支援</p>	<p>○産学連携支援の具体化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/4ー鯖江開発型企業と北陸先端大交流会を開催(鯖江 梵ギャラリーにて) <ul style="list-style-type: none"> <li>ー鯖江企業・鯖江商工会議所・鯖江市関係者：28名</li> <li>ー北陸先端科学技術大学院大学：9名</li> <li>ーHIAC、北陸経済連合会、福井県、福井大等：10名(北経連は連携支援)</li> </ul> </li> <li>・7/30ー鯖江関係者19名が北陸先端大訪問、施設見学後意見交換</li> <li>・10/25ー鯖江市・鯖江商工会議所・北陸先端科学技術大学院大学の3者による「相互連携協定」を締結。地場産業の高度化と新産業創出を進めることになった。(北経連はHIACと連携し本交流実現を支援)</li> </ul> <p>○マッチング支援(HIACとの連携事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪大学接合科学研究所と超高強度チタンの開発で域内企業との連携支援。現在、特許出願中。</li> <li>・日本経済団体連合会(経団連)と北経連の連携協定を活用した個別マッチングの推進(11件の申請実施済)</li> <li>・10/30 経団連(東京)でマッチングワークショップの実施 北陸より5名が発表、経団連会員企業と約40社と面談実施</li> </ul>	<p>・北経連のネットワークの中で得た大学の研究シーズや企業のニーズ情報のマッチングを推進し、本年度は、左記の鯖江×北陸先端大の連携協定が締結に至った。今後、この協定に基づきどのような展開に繋がるかが肝要なため、引き続き支援を続けていく。</p> <p>・本年度は経団連への個別マッチング11件を申請し、約半分の案件で経団連企業との面談が実現した。今後も、北陸の企業・大学の技術などを経団連会員企業に提案する取組みを継続していく。</p>
<p>③北陸地域ものづくり展示会への支援</p>	<p>・北陸技術交流テクノフェアや Matching HUB 金沢など地域の展示会開催に対する協力</p>	<p>○展示会への出展 北経連の産業振興の取組み紹介や「北陸シェアトップ150」を配布してPRを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸技術交流テクノフェア」 [10/24~25 福井市] 主催：技術交流テクノフェア実行委員会(北経連は実行委員) 北経連ブースにて、ロボット研究会会員大学研究室の研究内容を展示・解説 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー金沢工業大学：フィアスキのシミュレータ開発、遠隔操作ロボット</li> <li>ー金沢美術工芸大学：医療現場向け歩行車製品化プロジェクト</li> </ul> </li> <li>・「富山県ものづくり総合見本市」 [10/31~11/2 富山市] 主催：富山県ものづくり総合見本市2019実行委員会(北経連は運営委員会委員) 北経連ブースにて、北経連の活動の他、北陸産業活性化センターの活動・会員大学の研究内容を展示・解説 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー北陸先端科学技術大学院大学： モバイル型迅速簡便微生物菌遺伝子検査システムの開発</li> </ul> </li> <li>・「Matching HUB 金沢」 [11/11~12 金沢市] 共催：北陸先端科学技術大学院大学・中小機構・産総研 他 後援：北経連 等 北経連ブースにて、北経連の活動を展示</li> </ul>	<p>・大学の研究室の先生や学生が展示研究内容を説明し、多くのブース来場者があり盛況であった。各大学の研究内容を企業等にPRでき、企業との連携の機会となるように「北陸技術交流テクノフェア」、「Matching HUB」への出展・協力を継続する。</p> <p>・「富山県ものづくり総合見本市」は隔年開催で2020年度は開催されない。 ・2020年度の石川県最大の展示会である機械工業見本市(MEX 金沢2020)への出展申込完了【初出展】</p>
<p>④北陸産学技術交流会(新規) (「産学情報連絡会(仮称)」から名称を変更)</p>	<p>・企業および大学のニーズ、シーズ、研究施設・設備等の情報共有の場を設ける。</p>	<p>第6回北陸産学連携懇談会(8/27)において、企業の研究開発部門、大学の産学連携部門・研究者が参加する企業見学会、大学見学会等の実施を提案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸産業活性化フォーラム」に共催し、北陸先端科学技術大学院大学の「JAIST 技術サービス制度」等の紹介、研究設備見学 [10/8 北陸先端科学技術大学院大学 見学会参加者47名] (主催：HIAC、共催：北経連)</li> </ul>	<p>・産業界と地元大学の連携をより進めるため、大学の産学連携部門や研究者と企業の開発部門の実務者が参加する大学・企業・公設試験場の見学会を積極的に実施していく。</p>

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
		<p>○「北陸産学技術交流会」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業見学会：澁谷工業㈱ [11/15 金沢市 参加者 57 名] 第 1 回の北陸産学技術交流会として、澁谷工業㈱の本社、森本工場の見学会を実施。森本工場では再生医療事業等の説明や再生医療機器を見学。その後の懇親会に 39 名が参加し、見学会の感想などで懇談し交流を深めた。</li> <li>・【延期】企業見学会：朝日印刷㈱ [3/17 富山市 参加予定 40 名]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業見学会：朝日印刷㈱は 2020 年度へ開催延期</li> </ul>
<p>(3) 新技術等の活用による産業振興支援</p> <p>① 講演会、セミナー等による事例紹介、啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society 5.0 等の最新技術に精通した講師による講演会、セミナー等を開催し、時宜を得た情報提供・事例紹介を実施（例：IoT、AI、自動運転）</li> <li>・ 紹介冊子「北陸のシェアトップ 150」の積極的な活用</li> </ul>	<p>・ 講演会 [4/22 金沢 参加者：25 名] 講師：金沢大学新学術創成研究機構 計測制御研究室 菅沼直樹教授「自動運転研究の最新動向」</p> <p>○「Society5.0 を支える最新技術動向と地域の取組み」をテーマに会員懇談会で講演会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山会員懇談会「MaaS (Mobility as a Service)」 [10/29 富山市 参加者：93 名] 講師①：国土交通省総合政策局モビリティサービス推進課 重田裕彦課長「日本版 M a a S の推進に向けて」 講師②：東急㈱交通インフラ事業部次世代交通インフラ担当課 森田創課長 「伊豆における観光型 MaaS の取組みについて」 講師③：富山大学副学長・都市デザイン学部 中川大教授 「富山型 M a a S の可能性—地方における公共交通政策先進県・富山からの発信—」</li> <li>・ 石川会員懇談会「5G」 [12/10 金沢市] 講師①：㈱NTTドコモ取締役常務執行役員 ネットワーク本部長 田村穂積 氏 「5G の概要とNTTドコモの取組み」 講師②：富士通㈱ネットワークサービス事業本部 ビジネス・技術戦略室室長 大澤達蔵 氏 「ローカル 5G 導入について」(仮) 講師③：コマツ スマートコンストラクション推進本部 事業開発部主幹 村上数哉 氏 「スマートコンストラクションの取組みと 5G」</li> <li>・ 福井会員懇談会「AI (人工知能)」 [2/3 福井市] 講師①：㈱日立製作所 E2E 改革本部 サービスプラットフォーム開発推進部 担当部長 古澤 裕一 氏 「経営改革を加速する日立のデジタルトランスフォーメーション」 講師②：㈱大津屋 (オレボ) 代表取締役社長 小川 明彦 氏 「AI 活用によるお惣菜自動会計システム」 講師③：㈱福井新聞 営業局営業部 高橋 良彰 氏 ㈱レッジ 執行役員 飯野 希 氏 「福井発！地元企業と AI 活用を協創する『THINK AI』ワークショップ」</li> </ul> <p>○展示会（北陸技術交流テクノフェア、富山県ものづくり総合見本市、Matching HUB 金沢）、北陸産学懇談会、関東理工系就職研究会、経団連との懇談会で「北陸のシェアトップ 150」を配布し、北陸の優れた企業の PR を実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Society5.0 の実現に向けて IoT、5G、ビッグデータ、AI (人工知能) の分野においては技術革新が急速に進展しており、関連産業を含めて引き続き最新情報を提供していく。</li> <li>・ HIAC とも連携して最新技術に関わるセミナーを開催し、情報発信に取り組む。</li> <li>・ 展示会、域外団体との行事等、機会あるごとに配布し、北陸の企業や産業の積極的な PR 活動を展開していく。</li> </ul>

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性
②大学・企業の視察会、最新技術の紹介	・北陸内外の大学の研究施設や企業の先端施設の視察会等を実施し、最新技術を紹介	○山形県鶴岡サイエンスパーク視察 ＜視察先＞ ・慶應大先端生命科学研究所 ・ヒューマン・メタボローム・テクノロジー社 （メタボローム(代謝物質)解析ベンチャー) ・スパイバー社（人工クモ糸の開発） [5/23 鶴岡市 参加者：久和会長を含む 11 名]  ○大学見学会開催（総合対策委員会と共催） 石川県立大学にて実施 [8/27 参加者：久和会長、菱沼副会長ほか約 30 名] ・西澤学長による大学の取組みの概要説明 ・主要研究テーマと産学連携活動の紹介（(6)に記載） ・LEAF ラボ、水耕栽培施設、附属生物資源工学研究所を見学	・大学の研究施設や企業の先端施設の視察会等を継続し、最新技術等を紹介していく。  ・産学連携懇談会（会員大学学長と北経連役員等がメンバー）と同日に開催される大学見学会は、企業経営層が大学の活動や施設を知る機会となっており継続実施 （これまで、大学見学会は、北経先端大、金沢工大、金沢大、富山大、福井大、石川県立大で実施）
③ベンチャー振興支援	・北陸地域のベンチャー振興に関する提言をまとめ発表（別紙提言案参照） ・北陸内外のベンチャー動向に関する情報収集・提供 ・北経のベンチャー企業について調査 ・会員企業とベンチャー企業との交流促進	・「ベンチャー振興への提言」を 4/22 に発表【参考資料 2】 ビジネスアイデアの発掘、起業への意識向上、デジタル革新と規制緩和の推進、起業への支援を提言 ・いしかわ大学連携インキュベータ施設 i-BIRD 見学 入居しているゲームソフト開発会社(株)グランゼーラを視察 [8/27 石川県立大学見学に合わせて実施 参加者約 30 名] ・県のベンチャー支援機関が主催するベンチャーピッチ、金融機関が主催するベンチャー企業とのマッチングイベントに参加し情報収集を実施 ・経団連との連携協定を活用し、今年度初めてベンチャー企業等 2 社を経団連企業に紹介した。	・ベンチャー振興への提言に記載したように北経地域のベンチャーの動向を引き続き調査・情報発信し、会員に対するベンチャー振興への理解促進に努めるとともに、ベンチャー企業と会員との交流・連携を深めるよう活動を企画していく。  ・今後も優れた北経のベンチャー企業等を経団連企業に紹介する取組みを継続していく。
(4) 企業の人材育成支援 ①講演会、セミナー等による事例紹介、啓発	・業務能力向上を支援 （テーマ：デザインシンキング、サイバーセキュリティ、知的財産 等）	・「セキュリティミニキャンプ in 石川」[11/29-30 金沢市] （主催：金沢工業大学、中部経産局 他 後援：北経連 他） ・「データ駆動型社会における北経地域の未来」[2/19 金沢市] （主催：東京大学地域未来社会連携研究機構・HIAC 後援：北経連） ・「サイバーセキュリティディズ 2020」[2/25-26 金沢市] （主催：北経情報通信協議会、北経連 他）	・Society5.0 の実現に必要なスキルや、会員のニーズに応え、人材育成支援の講演会、セミナー、講習会等を大学や関連団体と連携して実施していく。 ・データの取得・活用による付加価値向上を担うデータサイエンス等の人材育成支援を検討する。
(5) 企業誘致等 ①域外企業の本社機能移転の促進支援  ②研究機関等政府関係機関の誘致支援	・首都圏、及び中京または関西圏における大規模展示会に出展し北経の企業立地環境(本社機能を含む)のPRを実施  ・北経 3 県等の誘致要望内容を情報収集 ・国への政策提言・要望に反映	○大規模展示会等への出展PR 北経 3 県の企業誘致担当と北経電力との共同出展 ・「国際フロンティア産業メッセ 2019」 [9/5~6 神戸市 出展社数：522 社 来場者：約 3 万人] アンケート回収：185 件 ・「ネプコンジャパン 2020」 [1/15~17 東京 出展社数：1,953 社 来場者：約 7 万人] アンケート回収：270 件  ・政府要望書に北経における次世代地域センター設立等を記載し要望した。	・ものづくり企業が多く集まる展示会において、北経の企業立地環境をPRし、アンケートによる情報収集を実施。 ・首都圏、及び中京または関西圏における大規模展示会に出展し北経の企業立地環境(本社・研究機能を含む)のPRを継続していく。
(6) 6 次産業化に資する農林水産業との連携	・スマート農業に取り組む企業や大学研究者、行政と連携し、農業生産・流通分野における先進的事例等の情報収集・提供	○8/27 石川県立大学の研究内容紹介 ・「石川県伝統アブラナ科野菜におけるゲノム育種の展開」 ・「澱粉の性質から見た加賀レンコンの美味しさ」  ○9/19 北海道名寄の薬用植物資源研究センター訪問 ・北海道の薬用植物栽培状況聴取 ・甘草、芍薬などの根の部分の収穫機器開発についての打合せ等 4 年前富山で開催した「薬用植物と漢方薬連携会議」のフォローとしての訪問。同センターとの情報交換と通じ、富山の和漢薬企業との連携を進めたい。	・先進的事例や先端農業資材等の情報収集・提供を継続していく。  ・中国産薬用植物原料の供給不安により、今後、日本国内での栽培の見直し、植物工場の活用等の動向を注視していく。

2019 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（社会基盤整備委員会）

アクションプラン実施項目	2019 年度（令和元年度）事業計画	実施状況	評価・方向性																																								
<p>(1) 広域社会基盤整備の推進</p> <p>① 関東、関西および中部との交流促進のためのアクセスの向上</p> <p>・北陸新幹線の敦賀までの早期開業</p> <p>・フル規格での大阪までの延伸</p>	<p>・北陸三県等と連携した政府、与党等に対する、早期開業に向けた要望活動。</p> <p>・大阪までの2030年頃までの一日も早い開業に向け、北陸三県・関西経済連合会等と連携した政府・与党等に対する要望活動実施。</p>	<p>○政府・与党等に対する要望活動、大会・総会等出席実績</p> <table border="1" data-bbox="1231 294 2151 1008"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>活動内容</th> <th>当会出席者</th> <th>場所(要望先)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/17</td> <td>富山県北陸新幹線対策連絡協議会 合同決起大会</td> <td>会長</td> <td>富山第一ホテル</td> </tr> <tr> <td>5/21</td> <td>(北陸新幹線建設促進大会・総会) 北陸新幹線建設促進同盟会中央要請</td> <td>会長、高木副会長、安宅副会長</td> <td>(ホテルニューオータニ) 与党、国交省</td> </tr> <tr> <td>6/14</td> <td>北陸新幹線早期全線開業実現決起大会(大阪協議会)</td> <td>会長</td> <td>リーガロイヤル NCB[大阪市]</td> </tr> <tr> <td>8/1</td> <td>政府要望</td> <td>会長、浅野常任理事、森田理事、齋藤富山大学学長</td> <td>与党、国交省、財務省、総務省等</td> </tr> <tr> <td>8/4</td> <td>福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会</td> <td>伊東副会長</td> <td>プラザ萬象 [敦賀市]</td> </tr> <tr> <td>8/10</td> <td>北陸新幹線建設促進石川県民会議総会</td> <td>菱沼副会長</td> <td>石川県地場産業振興センター</td> </tr> <tr> <td>10/16</td> <td>三経連要望活動</td> <td>会長</td> <td>経産省等</td> </tr> <tr> <td>11/13</td> <td>西経協要望活動</td> <td>会長</td> <td>与党、国交省、財務省、総務省等</td> </tr> <tr> <td>11/14</td> <td>北陸新幹線建設促進同盟会中央要請</td> <td>会長、高木副会長</td> <td>与党、国交省、総務省等</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒各要請や経団連との懇談会(11/20)等のあらゆる機会を捉えて、金沢・敦賀間の2022年度末までの確実な開業実現、敦賀・新大阪間における敦賀開業から切れ目のない着工と2030年頃までの一日も早い全線整備についてアピール。</p>	日程	活動内容	当会出席者	場所(要望先)	5/17	富山県北陸新幹線対策連絡協議会 合同決起大会	会長	富山第一ホテル	5/21	(北陸新幹線建設促進大会・総会) 北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長、高木副会長、安宅副会長	(ホテルニューオータニ) 与党、国交省	6/14	北陸新幹線早期全線開業実現決起大会(大阪協議会)	会長	リーガロイヤル NCB[大阪市]	8/1	政府要望	会長、浅野常任理事、森田理事、齋藤富山大学学長	与党、国交省、財務省、総務省等	8/4	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会	伊東副会長	プラザ萬象 [敦賀市]	8/10	北陸新幹線建設促進石川県民会議総会	菱沼副会長	石川県地場産業振興センター	10/16	三経連要望活動	会長	経産省等	11/13	西経協要望活動	会長	与党、国交省、財務省、総務省等	11/14	北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長、高木副会長	与党、国交省、総務省等	<p>○要望活動継続実施(北陸三県、関経連との連携含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度末までの確実な開業</li> <li>・敦賀開業後の関西・中京圏へのアクセス維持向上 ⇒敦賀駅での乗換利便性、在来線特急本数維持等</li> <li>・並行在来線への支援 利用者利便性向上、地元負担の軽減 等</li> </ul> <p>○全線整備にむけて敦賀開業から切れ目のない着工 2030年ごろまでの一日も早い開業に向け要望活動実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度中の工事実施計画認可</li> <li>・環境アセスメントの確実かつ速やかな実施</li> <li>・安定的財源確保による敦賀開業から切れ目のない着工</li> <li>・中京圏への在来線特急の運行本数の維持・拡大などによるアクセス確保</li> </ul>
日程	活動内容	当会出席者	場所(要望先)																																								
5/17	富山県北陸新幹線対策連絡協議会 合同決起大会	会長	富山第一ホテル																																								
5/21	(北陸新幹線建設促進大会・総会) 北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長、高木副会長、安宅副会長	(ホテルニューオータニ) 与党、国交省																																								
6/14	北陸新幹線早期全線開業実現決起大会(大阪協議会)	会長	リーガロイヤル NCB[大阪市]																																								
8/1	政府要望	会長、浅野常任理事、森田理事、齋藤富山大学学長	与党、国交省、財務省、総務省等																																								
8/4	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会	伊東副会長	プラザ萬象 [敦賀市]																																								
8/10	北陸新幹線建設促進石川県民会議総会	菱沼副会長	石川県地場産業振興センター																																								
10/16	三経連要望活動	会長	経産省等																																								
11/13	西経協要望活動	会長	与党、国交省、財務省、総務省等																																								
11/14	北陸新幹線建設促進同盟会中央要請	会長、高木副会長	与党、国交省、総務省等																																								
	<p>○北陸新幹線の動向</p> <p>5/31 鉄道運輸機構により、概略ルートとなる「事業実施想定区間」の公表。</p> <p>6/14 大阪府や関西経済連合会、大阪商工会議所など関西の官民6団体による「北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会」の設立。</p> <p>11/26 鉄道運輸機構により、「環境影響評価方法書」の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に公表された「事業実施想定区域」内で、住民密集地や山間部など各地域の特徴に沿って、調査の実施項目や手法をまとめたもの。</li> <li>・現地調査の期間は1年半程度で、2021年夏ごろにはルートや駅の位置を確定した環境影響評価準備書が公表される見通し。</li> </ul> <p>1/24 参議院本会議における安倍首相答弁</p> <p>自民党 野上浩太郎議員の代表質問に対して、「環境影響評価を着実に実施し、財源の確保を行うことで、整備計画路線の確実な整備にめどを立てる」と述べた。「災害時における代替輸送ルートの確保など、国土強靱化の観点からも重要な意義を有する」と述べた。</p> <p>2/18 自民党北陸新幹線整備PT</p> <p>PT設置から計5回の議論の取りまとめを行った。国費の大幅な増額、貸付料の最大限の確保、財政投融资等の活用の3本柱とするし、2023年春の着工を目指し議論を進める。</p> <p>【2020年度予算案】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢-敦賀間の事業費に2,750億円、敦賀以西の調査費に約12億円計上。</li> <li>※整備新幹線の総事業費は4,430億円(北海道新幹線 新函館北斗-札幌間 930億円、九州新幹線 武雄温泉-長崎間 750億円)</li> <li>・国費は804億円へと増額(前年度比+12億円)され、2年連続の増額となる。</li> </ul>	<p>○調査研究</p> <p>「北陸新幹線全線開業前倒しによる経済波及効果」 関西経済連合会・大阪商工会議所との共同調査。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/21に関西経済連合会 松本会長、大阪商工会議所 尾崎会頭とともに大阪にて記者会見を実施し、経済波及効果を公表。</li> </ul> <p>○関西経済界との連携</p> <p>12/2 関西北陸交流会(JR西日本主催)</p> <p>関西経済界からは関経連・大阪商工会議所・関西経済同友会等が出席</p> <p>2/6,7 関西財界セミナー 久和会長、光野 社会基盤整備委員長が参加</p> <p>2/22,23(中止)大阪グランフロントでのPR活動</p> <p>(北陸新幹線建設促進同盟会、関西経済連合会、関西広域連合との共催)</p>	<p>○大阪までの全線開業前倒しに係る調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査内容を踏まえ、関経連等と協調して今後の大阪早期開業に向けての機運醸成を図る。</li> </ul> <p>○関経連等、関西の経済界と連携し、早期全線開業に向けての関西地域でのさらなる機運醸成を図る。</p>																																								
	<p>・【関経連との共同調査研究】</p> <p>北陸新幹線全線開業前倒しに係る経済波及効果</p> <p>・関西地域と連携した現地での北陸新幹線PR活動</p>																																										

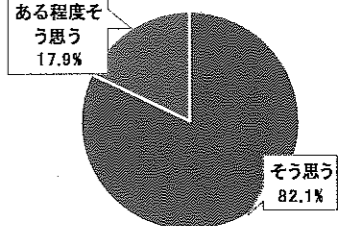
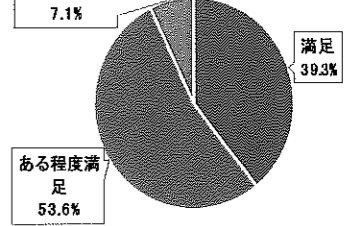
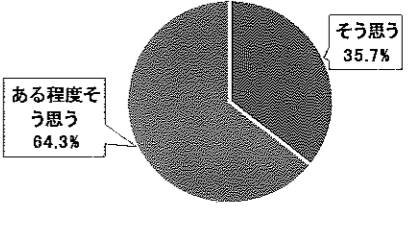
アクションプラン実施項目	2019年度(令和元年度)事業計画	実施状況	評価・方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールデンループの周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インバウンド需要のみならず、大規模災害時の国土代替補完機能としてのゴールデンループをアピール。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴールデンループ ⇒広域観光ルートとしてだけでなく、東海道新幹線の代替機能としての役割を、各要請や懇談会等にてアピール実施。 ・名刺の裏面への掲載、会議等でのPRチラシ配布の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴールデンループについて、広域観光推進および企業誘致分野と連携し、PR継続。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>②陸・海・空一体となった人流・物流基盤の整備促進</li> <li>・太平洋側での巨大災害発生時に実質的な代替機能を持つ物流ネットワークの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸地域国際物流戦略チーム広域バックアップ専門部会」への参画</li> <li>・スマートロジスティクス、最新のインフラ建設技術に関する情報収集、勉強会等の実施</li> <li>・防災・減災への取り組み 太平洋側代替機能としての役割 北陸地域における防災・減災への勉強会 「国土強靱化税制」実現など、広域的な取り組み実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会合出席 12/4「南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練」図上訓練 ・北陸の行政等および東海の荷主企業約60団体が参加</li> <li>○講演会の実施 12/10 会員懇談会(石川)「スマートコンストラクションの取り組みと5G」(コマツ 事業開発部 村上氏)</li> <li>○要望活動実施 8/1「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出 ・太平洋側に対する物流代替機能の強化 ・物流分野における労働力不足等に対応するための新技術等の導入促進(スマートロジスティクスの推進) ・物流コスト低減に向けた支援 ・自然災害に強い国土づくり ・防災・減災対策に資する支援(税制・環境整備等) ・異常気象時の人流・物流の確保に向けた対応 ・ICTを活用した防災・減災への対応 ・老朽化インフラの維持・更新への対応</li> <li>○国土強靱化税制に関する提言活動 民間主体による多彩な防災投資を促す体系的な減税措置の整備・創設を目指し、8地域経済連合会(北海道、東北、北陸、中部、関西、中国、四国、九州)が共同提言。 11/5「『国土強靱化税制』の整備・創設の新段階の提言」を8つの経済連合会で共同提言。 11/13 自民党「国土強靱化税制の整備・創設を支援する議員懇話会」において、自民党二階幹事長等へ要請。(久和会長ほか各経済連合会トップが出席)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「広域バックアップ専門部会」の活動(代替輸送訓練含む)への参画を継続</li> <li>○物流に関する情報収集・勉強会等の継続実施</li> <li>○要望活動継続実施</li> <li>○防災減災に対する取り組み・情報収集を強化 ・国土強靱化税制の整備・創設に向けた活動を継続実施 ・西日本経済協議会「防災連絡会議」(12/17立ち上げ)における情報収集・意見交換。</li> </ul>
<p>*スマートロジスティクス……IT・データ利活用を通じた物流分野の効率化・高度化(倉庫・車両の自動化・無人化、AIを利活用した管理システム等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主催行事や三経連・西日本経済協議会等での国交省等に対する、代替補完機能等をアピールする要望活動、NEXCO中日本との情報連携</li> <li>・事故・渋滞削減に資する地域高規格道路の整備促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会合出席 8/1 東海北陸自動車建設促進同盟会・東海環状道路建設促進期成同盟会 令和元年度合同定期総会・整備促進大会</li> <li>9/4 全国の暫定2車線での運用区間3,100kmのうち、4車線化優先整備区間880kmが選定された。 ○東海北陸道では 南砺スマートIC-飛騨清見IC間 ○舞鶴若狭道では 若狭三方-三方五湖スマートIC間 若狭上中-舞鶴東間</li> <li>3/10 上記優先整備区間のうち、2020年度に新たに着手する4車線化の候補箇所が発表された。 ○東海北陸道 福光IC-五箇山ICのうち9.5km 五箇山IC-白川郷ICのうち10.0km ○舞鶴若狭道 小浜西IC-大飯高浜ICのうち3.6km</li> <li>10/9 社会資本整備審議会道路分科会 北陸地方小委員会(富山外郭環状道路(国道8号線)計画段階評価)</li> <li>11/14 中部縦貫自動車道建設促進福井協議会 整備促進大会</li> <li>○要望活動実施 8/1「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出 ・東海北陸自動車道・舞鶴若狭自動車道の早期全線4車線化 ・中部縦貫自動車道(大野IC-油坂出入口)・能越自動車道(田鶴浜-七尾IC、のと里山空港IC-輪島IC)の早期全線開通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要望活動継続実施</li> <li>○NEXCO中日本との連携を継続</li> </ul>

アクションプラン実施項目	2019年度（令和元年度）事業計画	実施状況	評価・方向性
<p>・北極海航路等利用拡大に対応する日本海港湾拠点の国際化</p>	<p>・整備促進に向けた北陸三県、他経済団体等との連携（政府への要望活動の実施等） *クルーズ船誘致に向けた港湾整備 *税関・入国管理・検疫(CIQ)対応の迅速化 等</p> <p>・東海地区での北陸港湾ポートセールスの実施 *北陸港湾の利用拡大を荷主企業等へPR</p>	<p>○要望活動実施 8/1「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出 ・日本海側拠点港の整備促進 ・大型クルーズ船誘致に向けた北陸の港湾整備</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※金沢港クルーズターミナル 2020年4月以降 開業予定</p> <p>○代替輸送訓練（図上訓練）参加者との懇親情報交換会 12/4「南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練」実施後に情報交換会開催し、北陸3県の港湾関係者が東海地区の参加企業に対して北陸港湾の利用拡大をPR。</p>	<p>○要望活動継続実施</p> <p>○北陸港湾のポートセールス、PRを継続実施</p>
<p>・北陸地域内2次交通ネットワークの利便性の向上</p>	<p>・整備促進に向けた北陸三県、他経済団体等との連携（政府への要望活動の実施、利便性向上に向けたバス・私鉄事業者との連携等） ・各県並行在来線利用促進協議会等への参加</p>	<p>○要望活動実施 8/1「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出 ・並行在来線の存続と利便性向上のため、三セクへの国の支援、JRからの協力・支援の実現など、新たな仕組みの構築による地元負担の最大限の軽減 ・二次交通の充実にに向けた支援</p> <p>○協議会等参加 5/16, 福井県並行在来線対策協議会幹事会 6/7, あいの風とやま鉄道利用促進協議会幹事会 7/26, 福井県並行在来線対策協議会 11/8, いしかわ並行在来線金沢以西延伸対策検討会 12/11, あいの風とやま鉄道利用促進協議会幹事会 12/20, あいの風とやま鉄道利用促進協議会 2/4, 福井県並行在来線対策協議会幹事会</p> <p>○講演会の実施 10/29 富山会員懇談会において、MaaS (Mobility as a Service) をテーマに講演会を実施。</p>	<p>○要望活動継続実施 ・地域利便性を確保するため、三セク会社への国による支援、JRからの運営および設備投資に関する協力支援確保。</p> <p>○行政・バス・私鉄事業者との連携を継続</p>
<p>・北陸地域内空港の活性化（LCCの誘致、プライベートジェットの受け入れ推進等）</p>	<p>・活性化に向けた行政、他経済団体等との連携によるPR（政府要望活動の実施、利便性向上の航空会社との連携等） *富山、能登、小松空港の便数維持、乗り継ぎ割引の拡大 *国際便接続の利便性向上による羽田・成田空港の利活用の促進 *域内空港間の国内外路線の重複日程、時間帯の是正による回遊性の確保 等</p> <p>・羽田空港でのイベント等を通じ北陸地域の空港と羽田間の利用促進PR</p>	<p>○会合出席 7/3 小松空港協議会 令和元年度総会</p> <p>○要望活動実施 8/1「政府に対する北陸経済界からの要望書」を与党・関係省庁に提出 ・国内地方路線網の維持・拡充に向けた支援 ・新規路線開設および国際航空貨物便の拡充に向けた支援</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">※新規路線 ・小松—香港便（2019年4月就航・4～10月 週2便）</p> <p>○羽田空港のイベントの実施 11/2-3 京急との連携イベント（羽田空港） 羽田空港国内線第1旅客ターミナルにおいて、京急電鉄と連携して、北陸誘客促進および北陸の3空港（富山きときと空港、のと里山空港、小松空港）の羽田便の利用促進イベント実施。</p>	<p>○要望活動継続実施</p> <p>○航空会社との情報連携の継続</p>

\*MaaS (Mobility as a Service) ...  
スマホアプリにより、地域住民や旅行者のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索・予約・決済を一括で行うサービス。



## 2019 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（国際交流推進委員会・北陸 AJEC）

アクションプラン実施項目	2019 年度（令和元年度）事業計画	2019 年度 実施状況	評 価・方向性																				
<p>(1) 北陸地域・企業の国際化のあり方・方向性の提言</p> <p>① 経済活性化に資する企業の国際化に関する調査研究</p> <p>② 大学・研究機関との連携強化</p>	<p>1. 調査研究</p> <p>2018 年度に実施した北陸企業の外国人材の採用・活用に関する調査で、外国人留学生の就職意識と北陸企業の外国人材の採用・活用意向とのミスマッチ（日本語能力、志向するキャリアなど）が、留学生の北陸企業への就職促進に向けた取組みの課題として浮き彫りになった。</p> <p>そこで、今年度は、留学生と企業の双方を対象にしたミスマッチ解消に向けた取組みを展開し、北陸企業の外国人留学生の採用・活用の円滑化を図ることとする。</p> <p>○外国人留学生の北陸企業への就職促進に向けた意見交換・交流会の開催</p>	<p>1. 留学生向け取組み</p> <p>(1) 富山大学留学生との意見交換・交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：7月10日、13:30～16:30</li> <li>・場所：五福キャンパス 共通教育棟 B21 教室</li> <li>・内容：キャリア形成に向けた意見交換 13:30～14:45 ：北陸での就職に向けた意見交換 15:00～16:30</li> <li>・参加：留学生 8 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国 3、ベトナム 2、インド・マレーシア・韓国 各 1</li> <li>・学部 4、修士 4 (男 4、女 4)</li> </ul> </li> </ul> <p>企業 朝日印刷(株)、YKK(株) 講師 亜細亜大 九門教授 オブザーバー：富山国際大、富山県立大、金沢大学、富山県国際課、富山大鳥羽教授、津田駒工業(株)</p> <p>(2) 北陸先端科技大学留学生との意見交換・交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：7月22日、15:30～18:15</li> <li>・場所：マテリアルサイエンス系講義棟 M1・M2 講義室</li> <li>・内容：キャリア形成に向けた意見交換 15:30～16:20 ：北陸での就職に向けた意見交換 16:30～18:15</li> <li>・参加：留学生 15 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国 14、台湾 1</li> <li>・修士 1 年 10、修士 2 年 5 (男 6、女 9)</li> </ul> </li> </ul> <p>企業 津田駒工業(株)、YKK(株) 講師 亜細亜大 九門教授 オブザーバー：石川県立大、北陸大、北陸コカ・コーラ(株)</p> <p>(3) 福井大学留学生との意見交換・交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：10月28日、14:45～17:35</li> <li>・場所：文京キャンパス 総合研究棟 I 2F 総小 2 講義室</li> <li>・内容：キャリア形成に向けた意見交換 14:50～15:55 ：北陸での就職に向けた意見交換 16:05～17:35</li> <li>・参加：留学生 11 名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国 7、ベトナム 2、カンボジア・ミャンマー 各 1</li> <li>・学部 7、修士 4 (男 2、女 9)</li> </ul> </li> </ul> <p>企業：日華化学(株)、YKK(株) 講師：亜細亜大 九門教授、 オブザーバー：福井県立大、福井工業大学、(株)福井銀行、(株)NCC</p>	<p>受講アンケート結果（富山大+先端大+福井大）を見ると、留学生の満足度は高く、多くが意見交換会をもっと増やすべきと考えている。また、企業の採用意向についても一定の理解が得られた。一方、企業にとっては留学生の意見を肌で知ること、今後の採用・活用活動に活かす機会となった。</p> <div style="text-align: center;"> <p>意見交換会をもっと増やすべきか n=28</p>  <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><th>回答</th><th>割合</th></tr> <tr><td>そう思う</td><td>82.1%</td></tr> <tr><td>ある程度そう思う</td><td>17.9%</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>意見交換会全体に対する満足度 n=28</p>  <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><th>満足度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>満足</td><td>39.3%</td></tr> <tr><td>ある程度満足</td><td>53.6%</td></tr> <tr><td>あまり満足でない</td><td>7.1%</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>企業の採用意向をよく理解できたか n=28</p>  <table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr><th>理解度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>ある程度そう思う</td><td>64.3%</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>35.7%</td></tr> </table> </div>	回答	割合	そう思う	82.1%	ある程度そう思う	17.9%	満足度	割合	満足	39.3%	ある程度満足	53.6%	あまり満足でない	7.1%	理解度	割合	ある程度そう思う	64.3%	そう思う	35.7%
回答	割合																						
そう思う	82.1%																						
ある程度そう思う	17.9%																						
満足度	割合																						
満足	39.3%																						
ある程度満足	53.6%																						
あまり満足でない	7.1%																						
理解度	割合																						
ある程度そう思う	64.3%																						
そう思う	35.7%																						

アクションプラン実施項目	2019年度（令和元年度）事業計画	2019年度 実施状況	評価・方向性
	<p>○関係機関と連携した外国人材の活用に関するセミナーの開催</p>	<p>2. 企業向け取組み  (1) 北陸3県ジェトロ事務所と「高度外国人材採用・活用セミナー」を共催  ①富山「高度外国人材採用・活用セミナー」  ～海外ビジネスの鍵となる外国人材の活用術～  ・日時：6月3日、14：00～15：45  ・場所：富山国際会議場 2F 特別会議室  ・参加者：60名  ・内容：  「北陸地域外国人留学生向けアンケートで見た企業と留学生のミスマッチ」  北陸 AJEC 企画部会委員長 丸屋 豊二郎 氏  「富山大学における留学生就職支援の取組みと県内企業の皆様へのお願い」  富山大学 副学長 中村和幸 氏  「富山県における留学生への支援等について」  富山県国際課総合政策局 課長補佐 高田篤史 氏  「県内企業の高度外国人材の採用・活用事例」  アルケー情報(株) 代表取締役 千葉祐基 氏  (株)石金精機 代表取締役 清水克洋 氏  阪神ホールディングス(株) 総務部長 門前昌志 氏</p> <p>②金沢 「高度外国人材採用・活用セミナー」  ～北陸企業の外国人材活用事例を中心に～  ・日時：10月21日、10：00～12：00  ・場所：石川県地場産業振興センター本館 3F 第4研修室  ・参加者：50名  ・内容：  「北陸企業の外国人材の活用と課題-北陸企業・留学生へのアンケート調査から」  北陸 AJEC 企画部会委員長 丸屋 豊二郎 氏  「中小企業における高度外国人材の活躍に向けて」  ジェトロ 高度人材活躍推進コーディネーター 脇村美緒 氏  「県内企業の高度外国人材の採用・活用事例」  津田駒工業(株) 総務部 総務・人事課 参事 牧野 学 氏  三谷産業(株) 人事本部 人材開発部 部長 平田奈津子 氏</p> <p>③福井 「高度外国人材採用・活用セミナー」  ～高度外国人材の採用・活用方策と北陸企業での実践事例～  ・日時：12月20日、13：30～15：00  ・場所：福井商工会議所 2階 A会議室  ・参加者：30名  ・内容：  「北陸企業の外国人材の活用と課題-北陸企業・留学生へのアンケート調査から」  北陸 AJEC 企画部会委員長 丸屋 豊二郎 氏</p>	<p>高度外国人材の採用・活用に関して、今後外国人留学生の活用を考えている3県の企業に、昨年度の研究成果、ジェトロの支援策、県内企業の事例をわかりやすく説明し、きめ細かい普及啓発を行うことができた。</p>



アクションプラン実施項目	2019 年度（令和元年度）事業計画	2019 年度 実施状況	評 価・方向性
		<p>「中小企業における高度外国人材の活躍に向けて」            ジェトロ 高度人材活躍推進コーディネーター 脇村美緒 氏</p> <p>「県内企業の高度外国人材の採用・活用事例」            日華化学(株) 管理部門 グループ管理室次長 今井貴史 氏            (株)日本エー・エム・シー 代表取締役社長 山口康生 氏</p> <p>(2) 「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進プログラム コンソシアム総会・シンポジウムで講演を行う            ・日 時：11月21日、14：00～16：45            ・場 所：金沢ニューグランドホテル4F 金扇            ・内 容：            ・総会 14：00～14：30            ・シンポジウム：14：35～16：45</p> <p>「北陸企業と留学生の地元就職を巡るミスマッチ -アンケート調査結果から-」            北陸 AJEC 企画部会委員長 丸屋 豊二郎 氏</p> <p>「留学生定着に向けた取組み—英語プログラム9月修了生の事例」            (株)アイ・オー・データ機器 北村英寛 氏、            メガ・クリスティーナバヤ 氏</p> <p>「留学生採用に成功するためのポイント—外国人材受入先進企業はどんな採用活動をしているのか？」            石川県行政書士会 行政書士 菅原純平 氏</p> <p>「異文化コミュニケーションを捉える視点—ホフステードの「国民文化」モデル」            金沢大学 国際機構 特任助教 高沼理恵 氏</p>	<p>北経連が産業界の立場から本促進プログラムの推進協議会の一員として参画している。研究成果の講演を行うことで企業と留学生の相互の結び付きを深める取組みに資することができた。</p>
	<p>2. 情報発信            (1) 情報収集            ○ASEAN 諸国、対岸諸国等の政治経済情報（北陸 AJEC）</p> <p>○北陸企業の海外進出状況、北陸港湾の貨物取扱量等に関する統計情報（北陸 AJEC）</p>	<p>○関係機関等が開催する各種セミナーへの参加により情報収集を行った            ・「アジア経済フォーラム」（福井県立大学）            ・「中国研究会」（アジア経済交流センター）            ・「北東アジア輸送回廊ネットワーク」（NEANET）            ・「環日本海学術交流協会」            ・「環日本海経済研究所」（ERINA）            ・「東アジア貿易研究会」 等のセミナーへ参加</p> <p>○北陸企業の海外進出状況、北陸港湾・空港の貨物取扱量に関する情報を収集し機関紙「Warm TOPIC」に掲載する            ・「2018 年 北陸の港湾貨物取扱量実績」            ・「2018 年度 北陸の空港利用状況」            ・「北陸三県企業の海外進出状況」</p>	

アクションプラン実施項目	2019年度（令和元年度）事業計画	2019年度 実施状況	評価・方向性
	<p>(2)情報発信</p> <p>○機関紙「Warm TOPIC」の発行（北陸 AJEC）</p>	<p>○Warm TOPIC 2019年5/6月号(Vol.147) 4月12日発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄稿 <ul style="list-style-type: none"> <li>「中国経済の現状と今後の展望」 名古屋外国語大学 真家陽一 氏</li> <li>「南北朝鮮の和解と米朝関係の行方」 ジェトロ・アジア経済研究所 中川雅彦 氏</li> </ul> </li> <li>・定例報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>「中国における産後ケアビジネス」 福井県 上海事務所</li> <li>「バンコク駐在員事務所の開設について」 北國銀行 バンコク駐在員事務所</li> </ul> </li> </ul> <p>○Warm TOPIC 7/8月号(Vol.148) 6月12日発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄稿 <ul style="list-style-type: none"> <li>「日系総合スーパーの国際展開-イオンベトナムの事例研究-」 富山大学 鳥羽達郎 氏</li> </ul> </li> <li>・講演録 <ul style="list-style-type: none"> <li>「外国人留学生は日本での就職に際し企業に何を望んでいるか」 立命館アジア太平洋大学 横山研治 氏</li> </ul> </li> <li>・定例報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>「2018年世界コンテナ取扱港湾ランキングにみる世界経済の変化」 城西国際大学 神田正美 氏</li> <li>「中国の高齢者ビジネスの現状と課題」 富山県 大連事務所</li> <li>「ジャカルタの交通革命？」 北陸銀行 シンガポール駐在員事務所</li> <li>「2018年 北陸の港湾貨物取扱量実績」 北陸 AJEC</li> <li>「2018年度 北陸の空港利用状況」 北陸 AJEC</li> </ul> </li> </ul> <p>○Warm TOPIC 9/10月号(Vol.149) 8月12日発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度定期総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>「会長挨拶、中部経済産業局長挨拶、2019年度事業計画」</li> </ul> </li> <li>・寄稿 <ul style="list-style-type: none"> <li>「インドネシア大統領選挙と次期政権の目指す開発政策の方向性」 松井グローバル合同会社代表 松井和久 氏</li> </ul> </li> <li>・講演録 <ul style="list-style-type: none"> <li>「米中貿易摩擦と今後の日米中経済関係」 キャノングローバル戦略研究所 瀬口清之 氏</li> </ul> </li> <li>・定例報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>「小松-香港定期便の就航」 石川県 上海事務所</li> <li>「中国コーヒー業界における米中競争」 北國銀行 上海事務所</li> </ul> </li> </ul> <p>○Warm TOPIC 11/12月号(Vol.150) 10月10日発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄稿 <ul style="list-style-type: none"> <li>「タイ・プラユット軍事政権（2014～19）の経済政策とその評価」 国土館大学政経学部 助川成也 氏</li> <li>「新 NAFTA（USMCA）の合意と企業への影響」 国際貿易投資研究所 高橋俊樹 氏</li> </ul> </li> </ul>	<p>大学・研究機関、北陸三県・地銀との連携の下、専門的な知見に基づく政治経済情勢や海外現場の生の情報を発信できた。</p>

アクションプラン実施項目	2019 年度（令和元年度）事業計画	2019 年度 実施状況	評 価・方向性
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例報告 「深まる交流：台湾 Design×Made in 富山」 富山県 台北ビジネスサポートデスク 平川正紘 氏</li> <li>「高齢化が進むタイと介護事情」 北陸銀行 バンコク駐在員事務所（カシコン銀行出向） 伊藤邦敏 氏</li> <li>「北陸企業で活躍する留学生 OB 紹介」 福井銀行 朱 曉霞 氏（中国）</li> <li>○Warm TOPIC 2020 年 1/2 月号 (Vol. 151) 12 月 12 日発行</li> <li>・ 寄稿 「キャッシュレスが変えるビジネスと社会」 東洋大学経済学部 川野祐司 氏</li> <li>「ASEAN における物流管理 ～日系企業のベストプラクティス」 亜細亜大学国際関係学部 坂東達郎 氏</li> <li>・ 定例報告 「石川県シンガポール事務所の直近の活動」 石川県シンガポール事務所 田原雅比古 氏</li> <li>「タイのメガネ市場」 福井銀行バンコク駐在員事務所 田中 誠 氏</li> <li>「北陸三県企業の海外進出状況」 北陸 AJEC</li> <li>○Warm TOPIC 2020 年 3/4 月号 (Vol. 152) 2 月 12 日発行</li> <li>・ 寄稿 「米中摩擦とアジアの貿易」 拓殖大学国際学部 椎野幸平 氏</li> <li>「北陸における外国人留学生の就職・活用に向けた産官学連携の重要性」 亜細亜大学 アジア研究所 九門大士 氏</li> <li>・ 定例報告 「中国のシルバーエコノミー」 福井県上海事務所 永田暁史 氏</li> <li>「2030 年に向けて」 北陸銀行大連駐在員事務所 清水賢一 氏</li> </ul>	
<p>(2) 環境変化に対応した交流事業の方向性検討・実施</p> <p>①北陸・韓国経済交流会議の効果的な実施</p>	<p>3. 交流事業</p> <p>(1) 北陸・韓国経済交流会議の効果的な実施</p> <p>○「第 20 回北陸(日本)・韓国経済交流会議」</p> <p>(2) 海外諸国（環日本海、ASEAN 諸国）との経済交流促進</p> <p>○ベトナム</p> <p>①「ベトナム貿易・投資セミナー in 北陸」 ・ 在大阪ベトナム総領事館との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月 韓日経済協会幹部と金沢にて面談、結果は → 8 月開催予定の江原道での会議開催は延期とする → 環境が整うのを見たうえで本年度の開催について打ち合わせる</li> <li>・ 10 月に韓日経済協会に本年度開催休止を通知</li> <li>① 当初 6、7 月開催を予定したが、G20 大阪開催により中止。（本年度の開催見送りの公算）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2020 年の同会議開催については、環境が整った時点で、開催について検討していく。</li> <li>1) 在大阪ベトナム総領事館と連携し貿易・投資セミナーを実施する</li> </ul>

アクションプラン実施項目	2019年度（令和元年度）事業計画	2019年度 実施状況	評価・方向性
	<p>②「第4回 ベトナム政府高官との経済交流会議」 ・政策研究大学院大学（GRIPS）との連携 ・富山で初開催</p> <p><u>○インドネシア</u> 「第2回 インドネシア行政官との経済交流会議」 （政策研究大学院大学（GRIPS）との連携）</p> <p><u>○インド</u> 「北陸インド交流会議・Indian day in KANAZAWA」</p>	<p>② GRIPSと連携し、第4回ベトナム国 幹部との経済交流会議を実施 北陸新幹線が台風の影響で不通のため、米原経由 富山入り 【訪問団スケジュール】 10月24日（木） pm ・富山県商工労働部長表敬 ・富山県観光・交通振興局長より富山県の観光戦略説明 15:30～19:00 経済会議及び交流会 会場：富山電気ビルディング 大ホール 交流会議参加者 137名（うち 留学生16名を招待） 25日（金） am 地方自治体の文化事業視察（富山県美術館、富山市ガラス美術館） pm 産業視察（YKK センターパーク） 26日（土） am 観光資源視察（黒部トロッコ列車）</p> <p>③ 事業計画外 【新規】「ベトナム南部 ビンフック省投資環境セミナー」（ビンフック省より18名が参加） ・日時：6月24日（月） 13:30～18:30 ・場所：経済会議 金沢ニューグランドホテル 金扇 交流会 " 12f ロア ・主催：ビンフック省人民委員会 ・北陸ベトナム相互企業進出促進協会、北陸 AJEC 後援として開催協力 ・交流会議参加者 47名（うち 留学生2名を招待）</p> <p>【新規】ベトナム北部 タインホア省ミッション（20名が参加）の受け入れ ・8月20日 13:30～15:00 北陸・ベトナム協会（三谷産業）にて面談 ・AJECより北陸経済・産業の特徴など説明（Share TOP 150 配布）</p> <p>GRIPSと連携し、第2回 インドネシア行政官（23名が参加）との経済交流会議を金沢で実施 【訪問スケジュール】 9月1日（日） 新幹線にて金沢へ、 pm 観光視察 2日（月） am 産業視察：タカギセイコー社（高岡工場） 15:00～17:45 経済交流会議 金沢ニューグランドホテル 金扇 18:00～19:00 交流会 " 銀扇 3日（火） am 産業視察：津田駒工業社 その後 観光視察（白川郷） ・交流会参加者： 120名（うち 留学生19名を招待）</p> <p>・日時：2019年7月19日（金） 15:00～19:30 ・場所： 経済会議-金沢商工会議所 1F 大ホール ・懇談会- 金沢ニューグランドホテル 金扇 ・ヴァルマ 駐日インド大使、クマール 第一書記官にも参加頂いた。 ・参加者数（石川インド協会との連携もあり懇談会の参加者が多い） 経済会議 118名、懇談会 145名（うち 留学生26名を招待）</p>	<p>2) 2020年度もGRIPSと連携し「第5回ベトナム政府高官との経済交流会議」を開催予定。（4/17福井県で開催予定であったが、新型肺炎の影響により延期）</p> <p>・2020年度もGRIPSと連携し、「第3回 インドネシア行政官との経済交流会議」を8/31福井県で開催予定。</p> <p>・2020年度は、富山県インド協会と連携して、交流会議の開催を検討していく。</p>

アクションプラン実施項目	2019 年度（令和元年度）事業計画	2019 年度 実施状況	評 価・方向性
	<p>○その他 「在大阪米国総領事館と米国進出北陸企業との座談会」開催 協力</p> <p>4. 関連機関との連携 (1)関係機関と連携した ASEAN との経済交流促進</p> <p>(2)北陸経済連合会「総合対策委員会」、「先端技術推進委員会」への協力 ・留学生の活用促進、グローバル人材の育成支援</p>	<p>4月22日(月) ー北陸から米国へ進出している企業7社が参加</p> <p>○ 事業計画外 台湾 ・9月3日(火) 台湾三三企業交流会(金沢商工会議所が後援)への参加 (辻家庭園) シェアトップ150を配布</p> <p>○関係機関との連携 【連携機関名】 (1)政策研究大学院大学(GRIPS)→ベトナム、インドネシアとの経済交流会議 (2)北陸ベトナム相互企業進出促進協会 → ベトナムビンフック省投資環境セミナーなど (3)JETRO, JICA, 中小企業基盤整備機構 → ベトナム、インドネシア、インド会議で連携 (4)中部経済産業局 → ベトナム会議</p> <p>○留学生支援: 経済交流会議に地元大学の留学生を招待し北陸企業を知ってもらう機会を提供 本年度の留学生招待人数は ベトナム人留学生 16名 インドネシア人留学生 19名 インド人留学生 26名</p>	<p>⇒ 引き続き協力していく</p> <p>⇒ 引き続き協力していく</p>

## 2019 年度事業計画の実施状況と評価・方向性（広域観光推進委員会）

アクションプラン実施項目	2019 年度事業計画	実施状況	評 価・方向性												
<p>(1) 北陸三県の観光業界が一体となった広域観光の推進</p> <p>① 「北陸観光サロン」等の開催による連携強化</p>	<p>○ 関係機関と調整し、効果的な広域観光を推進する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「北陸三県誘客促進連携協議会」との連携</li> <li>・ 「北陸広域観光推進協議会」との連携</li> <li>・ 「北陸イメージアップ推進会議」との連携</li> </ul> <p style="text-align: right; margin-right: 10px;">} による広域 観光の推進</p> <p>○ 「北陸観光サロン」等の開催による連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サロンの年 2 回程度の開催</li> </ul>	<p>○ 関係機関の総会・幹事会で決定された事業計画に基づき、当会と連携して各々の事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「北陸三県誘客促進連携協議会（総会）」（5 月 15 日）</li> <li>・ 「北陸広域観光推進協議会（総会）」（6 月 18 日）</li> <li>・ 「北陸イメージアップ推進会議（第 1 回幹事会）」（4 月 24 日）</li> </ul> <p>○ 「北陸観光サロン」等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢ホテル懇話会主催「関西・北陸おちかづき街道」旅行商品化プロモーション（8/22 京都市）へ参加し、当会の取組を P R（久和会長）</li> <li>・ 第 9 回北陸観光サロン（12 月 5 日）を（一社）中央日本総合観光機構との合同で開催〔基調講演：（一社）日本インバウンド連合会 理事長 中村好明氏・ゆず兄弟（株）代表取締役社長 スベン・パリス氏 他〕</li> </ul>	<p>○ 関係機関において、事業計画に基づき、着実に事業を実施しており、今後もより効果的な事業を実施する。</p> <p>○ 北陸新幹線福井・敦賀開業（2023 年春）に向けた取組みについて、関係機関と協議・調整していく。 〔ex、北陸ディスティネーションキャンペーン（DC）〕</p> <p>○ 「北陸観光サロン」等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢ホテル懇話会主催会議において、2023 年春の北陸新幹線福井・敦賀延伸とその後の大阪全線開業、2025 年の大阪・関西万博等を控え、両地域が周遊観光を促し、インバウンドなどの受け皿拡大を図ることを確認。今後も参加し、広域周遊観光を推進する。</li> <li>・ 北陸観光サロンでは、「インバウンドおもてなし戦略」、「ZEN をテーマにしたドイツからの誘客の可能性」「オープンデータを利用したビジネス戦略の策定」などについて、理解を深めた。今後も必要な情報を提供する。</li> </ul>												
<p>② 観光産業を担う人材育成への取組み</p>	<p>○ 観光産業を担う人材育成への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学生観光まちづくりコンテスト北陸ステージの開催</li> <li>・ 上記のエントリー数の増加・実現化に向けた支援策の実施</li> </ul> <p>○ 主な観光案内所・駅・バス停・観光地・道路案内表示などの外国語表示の現状と課題の調査（大学との連携）</p> <p>○ 広域観光のあり方に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他地域の広域 DMO の現状把握等</li> <li>・ 観光に係る各種データを収集・分析し、情報提供するとともに、データに基づいた戦略策定について検討する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>*DMO (Destination Management Organization)</b> 『地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人』</p> </div>	<p>○ 観光産業を担う人材育成への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学生観光まちづくりコンテスト北陸ステージを開催（*事前説明会 6/14 *予選 8/27 *本選 9/6：福井県国際交流会館） &lt;応募数&gt;</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018 年度</th> <th>2019 年度</th> <th>対前年（増減）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北陸ステージ</td> <td>24 大学 30 チーム</td> <td>23 大学 36 チーム</td> <td>△1 大学 +6 チーム</td> </tr> <tr> <td>うち北陸三県</td> <td>9 大学 11 チーム</td> <td>7 大学 16 チーム</td> <td>△2 大学 +5 チーム</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員大学等への参加依頼を実施</li> <li>・ 観光庁長官賞受賞チーム（中京大学）が提案した『夕暮れおしゃべり酒場認定店制度』について、モニターによる実証実験実施（2/26）</li> </ul> <p>○ (4) に記載</p> <p>○ 広域観光のあり方に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連携 DMO の優れた取組み〔せとうち DMO〕</li> <li>*米国の政府観光局が行っている手法を導入する等、世界レベルのマーケティングを実施。また、瀬戸内らしさをコンセプトにしたテーマに設定し、各テーマに基づく取組を推進。</li> <li>*インバウンドに対応した情報発信・予約サイトを構築。当該サイトにおける宿泊やアクティビティの予約状況や動画の視聴結果等のデータを蓄積し、プロモーションとデータ分析を一体的に実施。</li> <li>*エリア内の地銀等の出資により 100 億円規模のファンドを創設し、地域戦略に合致した観光関連事業者のコンテンツ開発を支援。</li> <li>*域内の主な観光施設 800 箇所の受入環境実態に関する調査を実施。施設ごとのカルテを作成し、市町村、施設管理組織にフィードバックし、改善を促進。</li> </ul> <p>・ 北陸経済研究所において、HP「データで見る北陸」作成中であり、北陸三県の観光入り込み客数の推移等など「観光産業で見る北陸三県」として、情報提供を実施予定。（年度内）</p>		2018 年度	2019 年度	対前年（増減）	北陸ステージ	24 大学 30 チーム	23 大学 36 チーム	△1 大学 +6 チーム	うち北陸三県	9 大学 11 チーム	7 大学 16 チーム	△2 大学 +5 チーム	<p>○ 観光産業を担う人材育成への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光人材の育成について、大学生観光まちづくりコンテストの継続開催の検討も含め、地元の大学関係者及び学生の参加などを通じた人材育成の強化を図る。</li> </ul> <p>○ 観光産業の魅力向上に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光産業の人材育成に加えて、観光産業の持続的な発展のため、観光産業の魅力の向上に向けた取組みについて検討する。（ex. 生産性の向上、高付加価値サービス提供、労働条件の改善など）</li> </ul> <p>○ (4) に記載</p> <p>○ 広域観光のあり方に関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インバウンド需要を取り込んでいくことが観光地域づくりの課題。</li> <li>当会が参画している広域連携 DMO の（一社）中央日本総合観光機構に対して、観光人材の育成や他の DMO の優れた取り組み事例の活用の働きかけを実施する。</li> </ul> <p>・ 観光に係るデータの更なる充実化を図り、観光データ等の分析に基づく広域観光戦略を検討する。</p>
	2018 年度	2019 年度	対前年（増減）												
北陸ステージ	24 大学 30 チーム	23 大学 36 チーム	△1 大学 +6 チーム												
うち北陸三県	9 大学 11 チーム	7 大学 16 チーム	△2 大学 +5 チーム												

アクションプラン実施項目	2019年度事業計画	実施状況	評価・方向性
(2) 国内外に向けた北陸の魅力のより効果的な発信 ① インターネットを使った国内外への情報発信	○北陸物語 HP・FaceBook による情報発信 ・北陸物語 HP 内の情報を更新する	○北陸物語 HP・FaceBook による情報発信 ・北陸物語 HP 内の「北陸物語」の情報を春・夏・秋の3回更新。 また、冬のキャンペーン「Japanese Beauty Hokuriku」を更新。	○インターネットを使った国内外への情報発信 ・北陸物語 HP・FaceBook による情報発信を今後も継続していく。なお、北陸物語 HP は、2011(平成23)年11月制作以降、掲載内容の大幅な改定は行われておらず、掲載内容が古いことから北陸物語 HP のリニューアルについて、検討し、実施する。 ・北陸物語 FaceBook の英語による情報発信について検討し、実施する。(1回/月)
② 北陸新幹線ルートを加えた太平洋側との「ゴールデンループ」の形成	○ゴールデンループのPR  ○「北陸文化」としてのブランド化に向けた取り組み	○ゴールデンループのPR ・名刺の裏面への掲載、会議等でのPRチラシ配布の実施  ○「北陸文化」としてのブランド化に向けた取り組み ・首都圏等でのイベントにより北陸の魅力を情報発信(11/2-3) ・北陸物語 HP・FaceBook による情報発信を実施(HPは4回/年の季節毎に情報更新、FaceBookは約5回/週の掲載)	○ゴールデンループのPR ・様々な機会を通じてPR活動を実施しており、今後もPRについて、継続していく。  ○「北陸文化」としてのブランド化に向けた取り組み ・全事業を着実に実施することで「北陸文化」を発信。
(3) 関東、関西、中部をはじめとする大都市圏との交流拡大 ① 首都圏・関西圏でのイメージアップイベントの実施	○首都圏・関西圏でのイメージアップイベントの実施 ・京浜急行電鉄との連携事業 ・関西圏でのイメージアップイベントの実施 ・NEXCO との連携事業(湘南・北陸地域での物産展の開催等)	○首都圏・関西圏でのイメージアップイベントの実施 ・京浜急行との羽田での北陸プロモーション(11/2-3) ・関西圏のイベントについて、社会基盤整備委員会(2/22-23)及び富山県(3/6-7)の合同実施を協議していたが、新型コロナウイルス感染症関連で中止。 なお、ツーリズム EXPO ジャパン[主催:(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、日本政府観光局]に参加し、北陸三県の誘客PRを実施。(10/24-27:インテックス大阪) ・NEXCO との連携事業<北陸物産展:岡崎 SA の開催(6/3-7/4)へ販売商品紹介、北陸ジェレション冊子掲載者の紹介(富山編・福井編)>	○首都圏・関西圏でのイメージアップイベントの実施 ・京浜急行との羽田での北陸プロモーションについて、今回で5回目となり、効果検証の上、新たな取り組みも含め検討し、実施する。 ・関西圏のイベントについて、関係機関との合同開催も含め検討し、実施する。  ・NEXCO との連携事業について、継続して実施する。
② 経済団体、JR他、関係機関との連携による交流事業への取組み	○経済団体、JR他関係機関との連携による交流事業の取組 ・昇龍道プロジェクト推進協議会への継続参画 ・「中央日本総合観光機構」への継続参画	○経済団体、JR他関係機関との連携による交流事業の取組み ・昇龍道プロジェクト推進協議会への継続参画(久和会長が副会長) ・*受入環境整備分科会・ビジネス交流会(8/29 金沢商工会議所)によるキャッシュレス化の情報提供について支援 ・「中央日本総合観光機構」への継続参画(久和会長が副会長) ・*第9回北陸観光サロンを合同セミナーとして実施(12/5)	○経済団体、JR他関係機関との連携による交流事業の取組み ・インバウンド需要の取り込み及びそのための広域周遊観光の推進に引き続き取り組むため「昇龍道プロジェクト推進協議会」・「中央日本総合観光機構」へ継続参画する
(4) 観光客の増加に伴う諸問題への取組み ① 外国語表示・Wi-Fi 整備等	○外国語表示・Wi-Fi 整備等 ・観光インフラに対する要望の実施  ・主な観光案内所・駅・バス停・観光地・道路案内表示などの外国語表示の現状と課題の調査  ○民泊サービスの動向把握等  ○インバウンド観光の促進 ・北陸物語 HP による情報発信 ・会員企業の駐在事務所を活用した情報発信(2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて)	○外国語表示・Wi-Fi 整備等 ・観光・交通案内板の多言語表記など観光インフラに対する北経連政府要望の実施(8/1) ・「2019年度案内表示等の多言語表記調査(報告書)」を作成し、主な観光案内所・駅・バス停・観光地・道路案内表示などの多言語表記の現状と課題を調査・分析し、指摘事例等(課題)及びその対応の方向性について、とりまとめを実施。(12/27) また、報告書の概要について、マスコミ公表を予定。  ○民泊サービスの動向把握等 ・住宅宿泊事業法(民泊新法)<H30.6/1施行> ・観光庁HP:住宅宿泊事業法に基づく登録状況(R2.2.12) 富山県:76件、石川県:24件、福井県:12件、金沢市:39件(全国:20,878件)  ○インバウンド観光の促進 ・北陸物語 HP による情報発信の実施 ・会員企業の海外拠点に北陸物語 VOL3(英語版)を配布 *41社 860冊(11/27時点)	○外国語表示・Wi-Fi 整備等 ・「2019年度案内表示等の多言語表記調査(報告書)」等を踏まえ、観光インフラに対する政府等への要望を実施する。  ○民泊サービスの動向把握等 ・住宅宿泊事業法に基づく登録件数は増加傾向ではあるものの金沢市などは条例により年間180日を上限とした貸し出しに一定の制限(年間60日:住宅専用地域)を実施している。また、民泊はホテルや旅館の少ない地域の補完的な役割として、一定の機能を果たしているところもあり、引き続き、状況については注視していく。  ○インバウンド観光の促進 ・北陸物語 HP による情報発信の継続実施 ・北陸物語 FaceBook(英語)による情報発信 ・会員企業の駐在事務所を活用した情報発信 ・昇龍道プロジェクト推進協議会及び中央日本総合観光機構との連携による取り組みに参画する。

アクションプラン実施項目	2019年度事業計画	実施状況	評価・方向性												
(5) 新たな視点での観光資源の発掘 ① 長期的視点に立った発掘 ・長期滞在型観光の促進に向けた調査提言等 ② 女性ニーズ、外国人ニーズにマッチした施設、観光ルートの整備	○「北陸イメージアップ基礎調査報告書（H29.4）」等を活用した要望の実施 ○「2019年度 北陸イメージアップ基礎調査」を実施する。  ○女性ニーズ、外国人ニーズにマッチした施設、観光ルートの整備に向けた現状把握及び要望の実施	○広域観光周遊ルートの形成促進など「北陸イメージアップ基礎調査報告書（H29.4）」等を活用した北経連政府要望の実施（8/1） ○「2019年度北陸イメージアップ基礎調査報告書」を作成し、北陸のイメージの現状と課題を分析・把握し、その対応策の方向性について、とりまとめを実施。（3/17）  ○「2019年度 北陸イメージアップ基礎調査報告書」等に基づき、女性ニーズや外国人ニーズの現状把握を実施。	○「2019年度北陸イメージアップ基礎調査報告書」に基づき、“北陸の認知度向上のためのPR強化”が必要との結果から北陸物語HPのリニューアルについて、検討し、実施する。 ○女性は「食・温泉・買い物」の志向があり、ここに北陸三県の認知度・魅力度の高い素材を組み合わせた観光モデルコース（北陸女子旅）を策定し、情報発信する。 また、外国人は、「現地発着型の体験ツアー」の人气が高く、「コト消費」の視点で、観光モデルコースを策定し、情報発信する。												
③ ニューツーリズムの創造 ・教育観光と産業観光を組み合わせたニューツーリズム  ・産業観光における時代別、分野別等のルート策定  ・歴史、スポーツなどのニューツーリズム	○ニューツーリズムの創造 ・教育旅行誘致に関して、3県、JRの主導する「北陸3県 修学旅行誘致推進プロジェクト」との連携（教育旅行に、産業観光の組み合わせも継続提案） ・産業観光のあり方に関する検討（産業観光における時代別、分野別等のルート策定） ・歴史、スポーツなどのニューツーリズムの具体的内容について検討	○ニューツーリズムの創造 ・修学旅行誘致を3県、JRと連携し、以下の取組みを実施 *北陸新幹線連合体輸送：お出迎え式（5/14：新高岡、5/15：金沢駅） *関東地区公立中学校修学旅行委員会現地研修会（8/4-6） *旅行会社北陸三県修学旅行現地研修会（8/21-23） *2022年度向け学旅行説明会（R22/19 北陸新幹線連合体輸送による修学旅行実績） <北陸新幹線連合体輸送による修学旅行実績> <table border="1" data-bbox="1427 831 2095 1016"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>学校数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2019年度（実績）</td> <td>13校</td> <td>1,962名</td> </tr> <tr> <td>2020年度（実績）</td> <td>15校</td> <td>1,923名</td> </tr> <tr> <td>2021年度（計画）</td> <td>19校</td> <td>2,419名</td> </tr> </tbody> </table> ・産業観光のあり方に関する検討 *第17回北陸地域連携プラットフォーム（主催：北陸財務局）「産業観光の進展に向けた取組（経過報告）（6/13）」があり、北陸地域の産業観光の進捗状況や課題等を継続して把握することや全国の先進的な事例などからヒントを得ながら課題解決のための分析を継続する方向性が示された。  ・スポーツツーリズムについて、2020年1月15日「第4回 スポーツ文化ツーリズムシンポジウム（主催：スポーツ庁、文化庁、観光庁）並びに1月16日「第8回 スポーツツーリズム・コンベンション（主催：金沢市・（一社）日本スポーツツーリズム推進機構）への協力を実施。（開催場所：金沢市文化ホール）	時期	学校数	人数	2019年度（実績）	13校	1,962名	2020年度（実績）	15校	1,923名	2021年度（計画）	19校	2,419名	○ニューツーリズムの創造 ・教育旅行誘致に関して、3県、JRの主導する「北陸3県 修学旅行誘致推進プロジェクト」と引き続き、連携していく  ・産業観光進展に向けた取組みについて、北陸財務局のプラットフォームの経過報告を踏まえ、引き続き情報収集する。 また、歴史探訪など北陸物語（Vol1～3）及び北陸広域観光モデルコース（改訂版）等を参考にテーマ別観光について、検討し、北陸物語HP・Facebookで情報発信する。 ・ニューツーリズム（スポーツ等）について、関係機関との連携・協力を引き続き実施していく。
時期	学校数	人数													
2019年度（実績）	13校	1,962名													
2020年度（実績）	15校	1,923名													
2021年度（計画）	19校	2,419名													



2019年度 決算報告書

資料5-6

1. 貸借対照表 2020年3月31日現在

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金・預金	35,659,025	西経協総会引当金	2,100,000
敷金(北国不動産)	1,343,200	創立60周年事業引当金	2,000,000
		情報機器整備引当金	2,000,000
		退職給与引当金	1,427,064
		敷金(北国不動産)	1,343,200
		預り金	80,294
		剰余金	28,051,667
合計	37,002,225	合計	37,002,225

2. 収支計算書 2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
会費収入	88,620,000	事業費	59,415,431
協力金	700,000	会議費	2,375,132
雑収入	559,575	人件費	9,528,049
引当金戻入	5,000,000	事務費	20,233,752
		引当金	2,900,000
前年度繰越金	27,624,456	剰余金	28,051,667
合計	122,504,031	合計	122,504,031

2019年度 北経連 決算

(収入の部)

(単位:円)

	2019年度		差引(B-A)	摘要
	予算額(A)	決算額(B)		
会費	89,170,000	88,620,000	▲ 550,000	会員数429
協力金	700,000	700,000	0	石川県商工会議所連合会
雑収入	50,000	559,575	509,575	各種会合交通費謝金等
引当金戻入	5,000,000	5,000,000	0	海外視察引当金500万円取崩し
収入合計(A)	94,920,000	94,879,575	▲ 40,425	

(支出の部)

(単位:円)

	2019年度		差引(B-A)	摘要 (万円未満 切り捨て)	
	予算額(A)	決算額(B)		予算	決算額
事業費	70,400,000	59,415,431	▲ 10,984,569		
委員会活動費	28,450,000	23,461,314	▲ 4,988,686	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合対策委員会 930万円</li> <li>先端技術推進委員会 500万円</li> <li>社会基盤整備委員会 500万円</li> <li>国際交流推進委員会 265万円</li> <li>広域観光推進委員会 600万円</li> <li>広報・組織基盤委員会 50万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>815万円</li> <li>271万円</li> <li>336万円</li> <li>366万円</li> <li>509万円</li> <li>46万円</li> </ul>
連携活動費	41,950,000	35,954,117	▲ 5,995,883	<ul style="list-style-type: none"> <li>会員懇談会等 450万円</li> <li>他経済団体との懇談会等 680万円</li> <li>行政との懇談会 260万円</li> <li>支援団体への支援(北陸AJEC等) 1035万円</li> <li>その他事業費 770万円</li> <li>50周年記念事業費 400万円</li> <li>海外視察 600万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>344万円</li> <li>643万円</li> <li>126万円</li> <li>1035万円</li> <li>441万円</li> <li>437万円</li> <li>566万円</li> </ul>
会議費	2,910,000	2,375,132	▲ 534,868		
人件費	9,600,000	9,528,049	▲ 71,951		
事務費	22,100,000	20,233,752	▲ 1,866,248		
支出合計(B)	105,010,000	91,552,364	▲ 13,457,636		
単年度収支(A-B=C)	▲ 10,090,000	3,327,211	13,417,211		

(剰余金の部)

(単位:円)

	前年度繰越金(D)	引当金(E)	繰越金(C+D-E)
	27,624,456	2,900,000	14,634,456
	27,624,456	2,900,000	28,051,667
		0	13,417,211

## 監査報告書

2019年4月1日から2020年3月31日に至る期間における、  
北陸経済連合会の決算書を監査致しました結果、正当かつ妥  
当であることを認めます。

令和 2 年 5 月 14 日

北 陸 経 済 連 合 会

監 事

小池田 康成



小 寺 啓一



寺 林

敏

